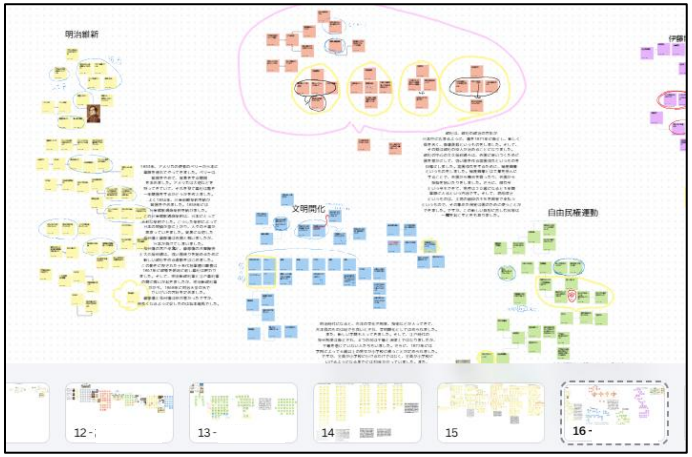
リーディングDXスクール事業 【GIGA×指導の工夫・改善】

一宮市立朝日西小学校（愛知県）【指定校】

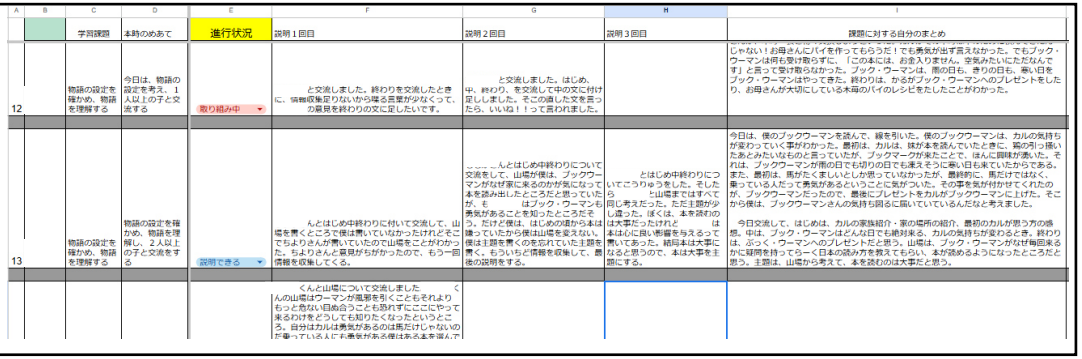
【GIGA×指導の工夫・改善】 デジタルホワイトボードとGoogleスプレッドシートを活用した個別最適型学習



デジタルホワイトボード機能を使い「情報収集、整理分析、まとめ」の過程をオンラインで共有した。１つのタブに１人で活動させることで、教員は即時に状況が把握でき、指導・支援を行うことができるようになった。

また、自由に他者参照ができる環境を整えたことで、児童が協働をする手助けとなり、教員だけではなく友達同士で教え合う姿が見られるようになった。

		教科書の理解						P課題
		「若い武士たちが幕府をたおす」についての理解	「大久保利通と明治新政府の改革」についての理解	「新しい世の中の文化や生活」についての理解	「板垣退助と自由民権運動」についての理解	「伊藤博文と国会開設、大日本帝国憲法」についての理解	「明治維新では、人々がどのような世の中をつくろうとしていたのか」についての理解	
1		説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	選択しよう	選択しよう
2		説明できる	説明できる	取り組み中	選択しよう	選択しよう	選択しよう	選択しよう
3		説明できる	説明できる	説明できる	選択しよう	選択しよう	選択しよう	選択しよう
4		説明できる	説明できる	説明できる	選択しよう	選択しよう	選択しよう	選択しよう
5		説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	選択しよう	選択しよう
6		説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	選択しよう	選択しよう
7		説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	説明できる	選択しよう	選択しよう
8	?	選択しよう	選択しよう	選択しよう	選択しよう	選択しよう	選択しよう	選択しよう
9		取り組み中	取り組み中	取り組み中	説明できる	選択しよう	選択しよう	選択しよう



		学習課題	本時のめあて	進行状況	説明１回目	説明２回目	説明３回目	課題に対する自分のまとめ
12		物語の設定を確かめ、物語を理解する	今日は、物語の設定を考え、１人以上の子と交流する	取り組み中	と交流しました。終わりを交流したときに、情報収集足りないから場名言葉が少なくて、の意見を終わりの文に足したいです。	と交流しました。はじめ、中、終わり、を交流して中の文に付け足しました。そこの直した文を言ったら、いいね！！って言われました。		じゃない！お母さんにパイを作ってもらうだ！でも勇気が出ず言えなかった。でもブック・ワーマンは何も受け取らずに、「この本には、お金入りません。空気みたいにただなんです」と言って受け取らなかった。ブック・ワーマンは、雨の日も、きりの日も、寒い日をブック・ワーマンはやってきた。終わりは、かるがブック・ワーマンへのプレゼントをしたり、お母さんが大切にしている木母のパイのレシピをたしたことがわかった。
13		物語の設定を確かめ、物語を理解する	物語の設定を確かめ、物語を理解し、２人以上の子と交流をする	説明できる	んとはじめ中終わりに付いて交流して、山場を書くところで僕は悪いいなかったけれどそこでちょりさんが悪いていので山場をことがわかった。ちょりさんと意見がちがかったので、もう一回情報を収集してくる。	んとはじめ中終わりについて交流をして、山場が僕は、ブックワーマンがなぜ家に来るのかが気になって本を読み出したところだと思っていたが、も はブック・ワーマンも勇気があることを知ったところだそう。だけど僕は、はじめの頃からあは嫌っていたから僕は山場を変えない。僕は主題を書くのを忘れていた主題を書く。もういちど情報を収集して、最後の説明をする。	とはじめ中終わりについてこうりゅうをした。そしたら ｔ山場まではすべて同じ考えだった。ただ主題が少し違った。ぼくは、本を読むのは大事だったけれど は本は心に良い影響を与えるって悪いであった。結局本は大事になると思うので、本は大事を主題にする。	今日は、僕のブックワーマンを読んで、線を引いた。僕のブックワーマンは、カルの気持ちが変わっていく事がわかった。最初は、カルは、妹が本を読んでいたときに、鞄の引っ掻いたあとみたいなものと言っていたが、ブックマークが来たことで、ほんに興味が湧いた。それは、ブックワーマンが雨の日でも切りの日でも凍天そうに寒い日も来ていたからである。また、最初は、馬がたくましいとしか思っていなかったが、最終的に、馬だけではなく、乗っている人だって勇気があるということに気がついた。その事を気が付かせてくれたのが、ブックワーマンだったので、最後にプレゼントをカルがブックワーマンにけた。そこから僕は、ブックワーマンさんの気持ち同るに届いていているんだなと考えました。 今日交流して、はじめは、カルの家族紹介・家の場所の紹介、最初のカルが思う方の感想。中は、ブック・ワーマンはどんな日でも絶対来る、カルの気持ちが変わると き、終わりは、ぶっく・ワーマンへのプレゼントだと思う。山場は、ブック・ワーマンがなぜ毎回来るかに疑問を持って＆ーく日本の読み方を教えてもらい、本が読めるようになったところだと思う。主題は、山場から考えて、本を読むのは大事だと思う。
					くんと山場について交流しました くんの山場はワーマンが風邪を引くこともそれよりもっと色ない日ぬ会うことも防ぎにここにやって来るわけをどうしても知りたくなったというところ。自分はカルは勇気があるのは馬だけじゃないの乗っている人にも勇気がある僕はあるを本を読んで			